

平成29年度 第1回瑞浪市化石博物館協議会議事録

日 時 平成29年5月24日（水）
9時30分～11時00分

会 場 瑞浪市化石博物館
レクチャールーム

出席者 <協議会委員>
大路樹生・渡辺基文・棚橋和代
今井敬博

<事務局>

工藤嘉高・柄沢宏明・安藤佑介

1. あいさつ

館長から委員に挨拶を行った。
大路委員が開会の挨拶を行った。

2. 委嘱状交付

館長から今井委員に委嘱状を交付した。今井委員が挨拶を行った。

3. 報告事項

平成28年度事業報告について（未報告分）

特別展の開催：みずなみ化石ニュース 2016 を12月16日（金）～4月2日（日）
に開催した。4,079人が期間中に入館した。

4. 協議事項

平成29年度事業計画について

●企画展の開催について

委 員：今後企画展は年3回行うのか？

事務局：時と場合による。トピック的な展示ができる場合は速報展として行う場合もある。

委 員：最近はどの博物館も似たような内容の企画展を行っている。特色ある内容を考えてほしい。また、めずらしい化石の展示ばかりでは飽きられてしまうのではないか。

事務局：収蔵品の充実している当館ならではの内容を考えたい。

●講座等の開催

委員：クジラ化石は貴重であるが地元の方々に見ていただいた方がいいので、展示会だけでなく講座などにも活用してほしい。

事務局：出前講座などで活用していく。すでに「瑞浪通史講座（5月6日、文化センター）」「自然観察会（5月13日、大湫公民館）」で骨を触っていただくなど活用している。

●調査・研究事業

委員：研究も博物館にとって重要な業務である。化石博物館は毎年の研究課題が充実している。昨年度もしっかり研究を行っているので、今年度も継続して行ってほしい。特に、中学校の工事現場から見つかったクジラの化石は大変学術的に貴重なものである。しっかり研究して行ってほしい。

事務局：今後も継続して研究を行っていく。そして、その成果は論文で公表し、一般向けには新聞で発表するなどし、積極的に広報を行っていききたい。

●展示資料等の購入

委員：年度毎の事業計画を立てているのは良いが、クジラ化石の発見の例もある。このような突発的な発見などに対応できるのか？

事務局：これまでの事業で購入した設備が整っているためある程度は柔軟に対応できる。今後も化石研究用備品の更新など整備を行っていく。来年度は、学校に展示するためのクジラ化石のレプリカ製作等予算要求をしていきたい。

5. その他

次回化石博物館協議会の開催時期について

年3回（5月、10月、3月）では、3月と5月で内容が重複するため今後は年2回（5月、10月）の開催にする。委員の方々にも承知いただいた。